

第221回 全経簿記検定試験 上級 一商業簿記一

解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 工事契約

問 1

(1) 20X1年度

- ① 見積総工事原価：28,000,000円 (20X1年度実際発生工事原価) + 52,000,000円 (追加見積工事原価)
 $= 80,000,000$ 円
- ② 工事進捗度：28,000,000円 (実際工事原価) \div 80,000,000円 (上記①) $\times 100 = 35\%$
- ③ 工事収益：120,000,000円 (請負工事契約価額) $\times 35\%$ (上記②) $= 42,000,000$ 円
- ④ 工事原価：28,000,000円 (半成工事は同額のため省略)

(2) 20X2年度

- ① 見積総工事原価：60,000,000円 (20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計) + 20,000,000円 (追加見積工事原価)
 $= 80,000,000$ 円
- ② 工事進捗度：60,000,000円 (20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計) \div 80,000,000円 (上記①) $\times 100 = 75\%$
- ③ 工事収益：120,000,000円 (請負工事契約価額) $\times 75\%$ (上記②) $- 42,000,000$ 円 (20X1年度の工事収益)
 $= 48,000,000$ 円
- ④ 工事原価：32,000,000円 (半成工事は同額のため省略)

問 2

(1) 20X2年度

- ① 工事収益：0円 (工事完成基準により算定)
- ② 半成工事：32,000,000円

問 3

(1) 20X2年度

- ① 工事収益：32,000,000円 (原価回収基準により算定)
- ② 工事原価：32,000,000円 (半成工事は同額のため省略)

問 4

(1) 20X1年度

- ① 工事収益：28,000,000円 (原価回収基準により算定)
- ② 工事原価：28,000,000円

(2) 20X2年度

- ① 見積総工事原価：60,000,000円 (20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計) + 20,000,000円 (追加見積工事原価)
 $= 80,000,000$ 円
- ② 工事進捗度：60,000,000円 (20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計) \div 80,000,000円 (上記①) $\times 100 = 75\%$
- ③ 工事収益：120,000,000円 (請負工事契約価額) $\times 75\%$ (上記②) $- 28,000,000$ 円 (20X1年度の工事収益)
 $= 62,000,000$ 円
- ④ 工事原価：32,000,000円 (半成工事は同額のため省略)

問5

(1) 20X1年度

- ① 工事収益：0 円（工事完成基準により算定）
 ② 半成工事：28,000,000円

(2) 20X2年度

- ① 見積総工事原価：60,000,000円（20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計）＋20,000,000円（追加見積工事原価）
 ＝80,000,000円
 ② 工事進捗度：60,000,000円（20X1年度及び20X2年度の実際発生工事原価合計）÷80,000,000円（上記①）×100＝75％
 ③ 工事収益：120,000,000円（請負工事契約価額）×75％（上記②）＝90,000,000円
 ④ 工事原価：28,000,000円（20X1年度半成工事）＋32,000,000円（実際発生工事原価）＝60,000,000円

問題2 総合問題

(単位：円)

※ 決算整理前残高試算表を以下、「前T/B」とする。

Follow① 金銭債権について

1. 破産更生債権等

(1) 科目の振替え

(借)	破産更生債権等	3,800	(貸)	受取手形	2,300
			(〃)	売掛金	1,500

(2) 貸倒引当金の算定

(借)	貸倒引当金繰入	1,200	(貸)	貸倒引当金	1,200
-----	---------	-------	-----	-------	-------

(注) 貸倒引当金繰入：3,800円（破産更生債権等）－2,600円（保証金）＝1,200円

2. 一般債権

(1) 換算替え

(借)	為替差損益	60	(貸)	売掛金	60
-----	-------	----	-----	-----	----

a 外貨建売掛金：900円÷150円/ドル（取引時の直物為替レート）＝6ドル

b 為替差損益：900円－{6ドル（外貨建売掛金）×140円/ドル（決算日の直物為替レート）}＝60円

(2) 貸倒引当金の算定

(借)	貸倒引当金	176	(貸)	貸倒引当金戻入	176
-----	-------	-----	-----	---------	-----

a 一般債権残高：3,300円（解答の金額・受取手形）＋3,140円（解答の金額・売掛金）＋2,000円（前T/B・長期貸付金）
 ＝8,440円

b 当期末貸倒引当金：8,440円（一般債権残高）×1％（貸倒実績率）＝84円

c 貸倒引当金戻入：260円（前T/B・貸倒引当金）－84円（当期末貸倒引当金）＝176円

3. 解答の金額

- ◇ 貸倒引当金繰入：1,200円（破産更生債権等・繰入）－176円（一般債権・戻入）＝1,024円
 ◇ 受取手形：5,600円（前T/B・受取手形）－2,300円（破産更生債権等）＝3,300円
 ◇ 売掛金：4,700円（前T/B・売掛金）－1,500円（破産更生債権等）－60円（為替差損益）＝3,140円
 ◇ 貸倒引当金：1,200円（破産更生債権等）＋84円（一般債権）＝1,284円

Follow② 有価証券について

1. 外貨建満期保有目的債券

(1) 償却原価法

(借)	外貨建満期保有目的債券	145	(貸)	有価証券利息	145
-----	-------------	-----	-----	--------	-----

a 金利の調整額 (外貨額) : $\{30 \text{ ドル (額面額)} - 26 \text{ ドル (取得原価)}\} \div 4 \text{ 年 (償還期間)} = 1 \text{ ドル}$

b 有価証券利息 : $1 \text{ ドル (金利の調整額)} \times 145 \text{ 円/ドル (期中平均直物為替レート)} = 145 \text{ 円}$

(2) 換算替え

(借)	為替差損益	395	(貸)	外貨建満期保有目的債券	395
-----	-------	-----	-----	-------------	-----

a 償却原価 (外貨額) : $26 \text{ ドル (取得原価)} + 1 \text{ ドル (金利の調整額)} = 27 \text{ ドル}$

b 帳簿価額 : $4,030 \text{ 円 (前T/B・外貨建満期保有目的債券)} + 145 \text{ 円 (償却原価法)} = 4,175 \text{ 円}$

c 為替差損益 : $4,175 \text{ 円 (帳簿価額)} - \{27 \text{ ドル (償却原価)} \times 140 \text{ 円/ドル (決算日の直物為替レート)}\} = 395 \text{ 円}$

2. その他有価証券

(1) 修正仕訳 (前T/Bより再振替仕訳未了)

(借)	その他有価証券評価差額金	430	(貸)	その他有価証券	430
-----	--------------	-----	-----	---------	-----

(2) 時価評価

(借)	その他有価証券	130	(貸)	その他有価証券評価差額金	130
-----	---------	-----	-----	--------------	-----

a 取得原価総額 : $1,500 \text{ 円 (A社株式帳簿価額)} + 2,100 \text{ 円 (B社株式帳簿価額)} - 430 \text{ 円 (修正仕訳)} = 3,170 \text{ 円}$

b 時価総額 : $1,600 \text{ 円 (A社株式時価)} + 1,700 \text{ 円 (B社株式時価)} = 3,300 \text{ 円}$

c その他有価証券評価差額金 : $b - a = 130 \text{ 円}$

3. 解答の金額

◇ 為替差損益 : $60 \text{ 円 (一般債権の換算替え)} + 395 \text{ 円 (有価証券の換算替え)} = 455 \text{ 円}$

◇ 外貨建満期保有目的債券 : $4,030 \text{ 円 (前T/B・外貨建満期保有目的債券)} + 145 \text{ 円 (償却原価法)} - 395 \text{ 円 (換算替え)} = 3,780 \text{ 円}$

◇ その他有価証券 : $3,600 \text{ 円 (前T/B・その他有価証券)} - 430 \text{ 円 (修正仕訳)} + 130 \text{ 円 (時価評価)} = 3,300 \text{ 円}$

◇ その他有価証券評価差額金 : $430 \text{ 円 (前T/B・その他有価証券評価差額金)} - 430 \text{ 円 (修正仕訳)} + 130 \text{ 円 (時価評価)} = 130 \text{ 円}$

Follow③ 商品売買について

1. 売上原価の算定

(1) 期首商品棚卸高の振替え (前T/B・繰越商品)

(借)	仕	入	31,000	(貸)	繰	越	商	品	31,000
-----	---	---	--------	-----	---	---	---	---	--------

(2) 期末商品棚卸高の振替え

(借)	繰	越	商	品	32,000	(貸)	仕	入	32,000
-----	---	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

(注) 繰越商品：800個 (帳簿棚卸数量) × @40円 (取得原価) = 32,000円

(3) 数量の評価

(借)	棚	卸	減	耗	費	800	(貸)	繰	越	商	品	800
-----	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	---	-----

(注) 棚卸減耗費：{800個 (帳簿棚卸数量) - 780個 (実地棚卸数量)} × @40円 (取得原価) = 800円

(4) 価格の評価

(借)	商	品	評	価	損	120	(貸)	繰	越	商	品	120
-----	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	---	---	-----

(注) 商品評価損：4個 (品質低下商品) × {@40円 (取得原価) - @10円 (正味売却価額)} = 120円

(5) 科目の振替え

(借)	仕	入	920	(貸)	棚	卸	減	耗	費	800
				(〃)	商	品	評	価	損	120

2. 解答の金額

◇ 仕入：124,000円 (前T/B・仕入) + 31,000円 (期首商品棚卸高) - 32,000円 (期末商品棚卸高)
+ 920円 (科目の振替え) = 123,920円

◇ 繰越商品：31,000円 (前T/B・仕入) - 31,000円 (期首商品棚卸高) + 32,000円 (期末商品棚卸高)
- 800円 (数量の評価) - 120円 (価格の評価) = 31,080円

Follow④ 固定資産について

1. 建物

(1) 減価償却費の算定

(借)	減	価	償	却	費	1,000	(貸)	建	物	減	価	償	却	累	計	額	1,000
-----	---	---	---	---	---	-------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

(注) 減価償却費：40,000円 (前T/B・建物) ÷ 40年 (耐用年数) = 1,000円

(2) 減損損失の算定

(借)	減	損	損	失	1,100	(貸)	建	物	1,100
-----	---	---	---	---	-------	-----	---	---	-------

a 帳簿価額：40,000円 (前T/B・建物) - {12,000円 (前T/B・建物減価償却累計額) + 1,000円 (減価償却費)}
= 27,000円

b 回収可能価額：25,900円 (使用価値) > 25,000円 (正味売却価額)

c 減損損失：27,000円 (帳簿価額) - 25,900円 (回収可能価額) = 1,100円

2. 解答の金額

◇ 建物：40,000円 (前T/B・建物) - 1,100円 (減損損失) = 38,900円

◇ 建物減価償却累計額：12,000円 (前T/B・建物減価償却累計額) + 1,000円 (減価償却費) = 13,000円

Follow⑤ 長期借入金について

1. 利息の見越

(借)	支 払 利 息	70	(貸)	未 払 利 息	70
-----	---------	----	-----	---------	----

(注) $\{3,000 \text{ 円 (前T/B・長期借入金)} \times 4\% \text{ (年利)}\} \times 7/12 \text{ (20X4年9月} \sim \text{20X5年3月)} = 70 \text{ 円}$

2. 解答の金額

◇ 支払利息 : 50 円 (前T/B・支払利息) + 70 円 (見越計上額) = 120 円

Follow⑥ 社債について

1. 償却原価法

(借)	社 債 利 息	221	(貸)	社 債 発 行 差 金	221
-----	---------	-----	-----	-------------	-----

a 市場の金利 : $9,300 \text{ (発行価額)} \times 5.6\% \text{ (実効利子率)} = 521 \text{ 円}$

b クーポン利息 : $10,000 \text{ 円 (額面総額)} \times 3\% \text{ (約定利子率)} = 300 \text{ 円}$

c 社債利息 : $521 \text{ 円 (市場の金利)} - 300 \text{ 円 (クーポン利息)} = 221 \text{ 円}$

2. 解答の金額

◇ 社債利息 : 300 円 (前T/B・社債利息) + 221 円 (償却原価法) = 521 円

◇ 社債発行差金 : $700 \text{ 円 (前T/B・社債発行差金)} - 221 \text{ 円 (償却原価法)} = 479 \text{ 円}$

Follow⑦ 費用及び収益の見越と繰延について

1. 給料の見越

(借)	給 料	340	(貸)	未 払 給 料	340
-----	-----	-----	-----	---------	-----

2. 広告宣伝費の繰延

(借)	前 払 広 告 宣 伝 費	20	(貸)	広 告 宣 伝 費	20
-----	---------------	----	-----	-----------	----

(注) $120 \text{ 円 (前T/B・広告宣伝費)} \times 2/12 \text{ (20X5年4月} \sim \text{20X5年5月)} = 20 \text{ 円}$

3. 解答の金額

◇ 給料 : $3,200 \text{ 円 (前T/B・給料)} + 340 \text{ 円 (見越計上額)} = 3,540 \text{ 円}$

◇ 広告宣伝費 : $120 \text{ 円 (前T/B・広告宣伝費)} - 20 \text{ 円 (繰延計上額)} = 100 \text{ 円}$

Follow⑧ 自己株式処分差損について

1. 自己株式処分差損の振替え (前T/B・自己株式処分差損)

(借)	その他資本剰余金	560	(貸)	自己株式処分差損	560
-----	----------	-----	-----	----------	-----

2. その他資本剰余金の補てん (その他資本剰余金が零になるまで)

(借)	繰越利益剰余金	140	(貸)	その他資本剰余金	140
-----	---------	-----	-----	----------	-----

3. 解答の金額

◇ その他資本剰余金：420円 (前T/B・その他資本剰余金) - 560円 (自己株式処分差損) + 140円 (補てん) = 0円

Follow⑨ 法人税等について

1. 法人税、住民税及び事業税の計上

(借)	法人税、住民税及び事業税	500	(貸)	仮払法人税等	200
			(〃)	未払法人税等	300

(注) 500円 (法人税、住民税及び事業税) - 200円 (前T/B・仮払法人税等) = 300円

Follow⑩ 当期純利益について

1. 解答の金額

◇ 繰越利益剰余金：12,210円 (前T/B・繰越利益剰余金) - 140円 (その他資本剰余金の補てん)
+ 10,505円 (当期純利益) = 22,575円